

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年01月13日(木)

事務事業		道路維持管理事業		担当課	道路管理課	担当係	道路維持係	管理番号	4134	
第2次総合計画				事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務	→ 対象拡大 サービス拡充	有□	有□	
	行計画分野策別名	大項目	200005	快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令 個別計画等	道路法 深谷市舗装修繕計画				
		中項目	200002	交通アクセスの便利なまちづくり						
	小項目	200001	道路・交通環境整備の推進							
事業概要		市道の安全を確保するため、路面や構造物の修繕を行うとともに、排水施設や街路樹、特殊車両の維持管理を行う事業である。								
目的 ※何のために		安全かつ快適に通行できる道路空間を確保するため								
対象 ※誰・何を対象に		市道の舗装、排水施設その他道路施設								
手段 ※どのように		点検、調査、設計、補修等を行う								
成果 ※何を求めるか		道路機能を維持し、事故を未然に防ぐ								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 市職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO 民間団体 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）			
		一般会計	08	土木費	02	道路橋りょう費	01	道路維持費	道路維持管理事業	450,134,639
		一般会計	08	土木費	02	道路橋りょう費	01	道路維持費	遊歩道維持管理事業	42,223,926
			00		00		00			0
			00		00		00			0
			00		00		00			0
本事業の 主な業務		・ 道路維持修繕工事					・ 道路側溝蓋、穴埋め用合材、切込砕石の購入			
		・ 道路の緊急修繕					・ 道路側溝蓋掛け工事			
		・ 植栽管理業務					・ 簡易補修			
		・ 側溝土砂収集運搬処分業務					・ 凍結防止剤の散布作業			
		・ 道路パトロール					・ 資材の調達及び機材の貸出			
		・ 災害時の復旧対応					・ トイレ清掃業務			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区 分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			遊歩道維持管理事業と統合	道路維持修繕工事	道路維持修繕工事	道路維持修繕工事	道路維持修繕工事	道路維持修繕工事
			道路維持修繕工事	植栽管理・除草業務	植栽管理・除草業務	植栽管理・除草業務	植栽管理・除草業務	植栽管理・除草業務
			植栽管理・除草業務					
事業費	予算（現額）		603,905,000	578,484,000	534,012,000	515,685,000	485,519,700	412,847,000
	決算額		557,565,972	521,451,688	497,216,020	492,358,565	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	557,565,972	521,451,688	497,216,020	492,358,565	485,519,700	412,847,000
人件費	従事職員数(人)		6.98	6.98	7.10	6.94	6.90	6.90
	人件費相当試算 ※1		28,626,720	54,318,360	55,813,100	56,463,840	56,138,400	56,138,400
			0	0	0	0	0	0
(総事業費試算)			586,192,692	575,770,048	553,029,120	548,822,405	541,658,100	468,985,400

※1 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

3. 評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値 実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標 1	舗装修繕工事施工延長	目標値 実績値	km	3.02	2.38	3.46	2.37	0.00	0.00	■
		年度別目標値の設定根拠		道路の老朽化や修繕要望に基づくものであり、目標値は設定していない。							
		当該年度実績									
■	成果指標 1	道路維持管理上の事故件数	目標値 実績値	件	0.00 3.00	0.00 1.00	0.00 2.00	0.00 4.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		管理上の事故は、常に発生しないようにしている。							
		申請された件数									
■	成果指標 2	道路維持管理上の苦情件数	目標値 実績値	件	0.00 1,189.00	1,058.00 1,322.00	1,048.00 1,267.00	1,037.00 1,754.00	1,027.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠		H28年度より1%程度の削減目標としている。							
		当該年度実績									
□			目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値 実績値		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	□
		年度別目標値の設定根拠									

4. 観点別評価 (A: 目標値どおり (以上) B: ほぼ目標値どおり C: 目標未達成 - : 目標値の設定がないもの)

活動 (意図した活動を行っているか)	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明
		昨年度から施工延長が1.09km減少した。
成果 (意図した成果が上がっているか)	C	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明
		道路瑕疵については、側溝の破損による物等により4件あったが、現場対応は迅速に行い、相手方とも示談に至った。苦情件数については、新型コロナウイルスによる影響で休日を自宅近郊で過ごす方が増えた影響から昨年度から487件と大幅に上昇したが、ほぼ全て対応済みとなっている。
効率性 (効率的に事務を行っているか)		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者 道路維持係長 松本拓陽

5. 前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	道路維持管理事業	担当課	道路管理課	担当係	道路維持係	管理番号	4134
<div><div><input type="checkbox"/> ① 現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ② 見直して継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③ 拡充・重点化（コスト投入）</div><div><input type="checkbox"/> ④ 目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤ 廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>道路施設の老朽化が進み、樹木や雑草の成長も止められない現状であるが、予算は年々減少傾向である。道路瑕疵による事故や苦情件数を減少させるには全市道路線の手厚い維持管理が必要となるため、こまめな小規模修繕により事故や苦情を最小限に抑えるとともに誠意ある対応ができた。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取り組み内容は？</div>		評価者	道路管理課長 宮下昌規				

7. 改善改革プランと今後の課題

改善・改革案	これまででは、自治会からの修繕要望やパトロールによる破損箇所の修繕などを行う「事後保全型」の維持管理に加え、令和2年度に深谷市舗装修繕計画（個別施設計画）を策定し、主要幹線道路に対し、調査車両による現状把握と想定破損曲線に基づき修繕を行う「予防保全型」の維持管理も並行して行う。それにより、事故や破損を未然に防ぎ、効率的な維持管理を行っていくことで苦情件数や道路瑕疵案件の減少を目指す。
--------	---

8. 今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

今後の課題	「事後保全型」の維持管理を引き続き行いつつ、舗装修繕計画（個別施設計画）に基づく維持管理を行う事で、一時的なコスト増が見込まれる。これについては、起債等の財源について財政サイドと調整を行い、計画に基づく維持管理を実現していける様、検討していく。
-------	--

9. 評価指標グラフ

